

教科の目標

- 1 日本の歴史を中心に人類史の概要と各時代の特色をつかみ日本国民としての自覚を持つ。
- 2 歴史上大きな役割を果たした人物やできごと、時代を象徴する文化遺産の学習を通じ歴史の必然性を具体的に理解する。
- 3 諸外国やその文化との関係を知り国際協調の精神を養う。

評価の観点

- 1 社会のさまざまなできごとへの関心を高め、意欲的に追究し、広い視野に立って解明しようとしているか。(主体的に学習に取り組む態度)
- 2 社会のさまざまなできごとから問題を発見し、情報を多面的に考察した内容を表現できるか。(思考・判断・表現)
- 3 必要な資料を収集、選択、活用し問題解決をしたり、調べまとめることができるか。社会のさまざまなできごとの意味や特色、相互の関連性を理解し基礎的な知識を身につけているか。(知識・技能)

評価の方法

- 1 授業中の態度や参加の様子がまじめで意欲的であり、考えを発言する。
- 2 課題に対し、多角的・多面的に考察し、言葉や文章等により解決することができる。
- 3 課題に対する適切な資料を収集し解決のために利用することができる。
- 4 授業内容を知識として構築し、定期テスト(中間・期末)で解答することができる。

特色ある学習方法

- 1 問題解決型学習を単元によって導入し、思考力・判断力・表現力を育成する。
- 2 話し合い活動を通じ、他者からの情報を分析する能力を高める。
- 3 課題に対する調査活動を行い、適切な資料を収集し活用する能力を養う。
- 4 基礎的事項の理解、定着を図るため、まとめ作業やレポート作成等を行う。

	学習すること	学習のねらい
一学期	第1章 歴史へのとびら 第2章 古代までの日本 1節 世界の古代文明と宗教のおこり	<ul style="list-style-type: none"> ・年代、時代区分についての基本的事項を理解する。 ・問題の発見し解決する過程を通して、「思考力」「判断力」「表現力」を養う。 ・人類の出現や古代文明の特色、日本列島における人々の生活の変化について理解する。
二学期	2節 日本列島の誕生と大陸との交流 3節 古代国家の歩みと東アジア世界 3章 中世の日本 1節 武士の政権の成立	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島において人々の生活が始まり、やがて、国家が形成されていく過程を、東アジアと関連づけて理解する。 ・聖徳太子の政治と大化の改新、律令国家の成立、摂関政治を通して天皇貴族の政治が展開したことを理解する。 ・武家政権が誕生し武士の支配がしだいに全国に広まり、武家社会が発展していく流れを理解する。 ・幕府の支配の広まりを理解するとともに武家政権の特色を考える。 ・承久の乱、元寇、鎌倉幕府の滅亡を通じ、武家政権の変化を理解する。
三学期	2節 ユーラシアの動きと武士の政治の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・南北朝の動乱、室町幕府の成立、応仁の乱と戦国大名の登場を通して、武家政治の展開を理解する。 ・東アジア世界とのかかわりをモンゴルの襲来、日明貿易などから理解する。 ・室町時代の新しい文化の特色を理解する。